

## 公民(きまりをつくる目的と方法)

社会生活を円滑に営むためには、同じような対立が起こるのを防ぐために①\_\_\_\_\_を作っておくことが必要で、①\_\_\_\_\_を作るときには、だれにどのような②\_\_\_\_\_があり、どのような③\_\_\_\_\_や④\_\_\_\_\_があるのかを明らかにすることが大切である。

また、決定や採決のしかたは1つではなく、例えば採決のしかたであれば、⑤\_\_\_\_\_で決める、あるいは⑥\_\_\_\_\_で決めるという方法がある。それぞれに長所と短所があり、⑤\_\_\_\_\_で決める場合には⑦\_\_\_\_\_という短所がある。また、⑥\_\_\_\_\_で決める場合には⑧\_\_\_\_\_という短所があるため、⑨\_\_\_\_\_ということに注意を払って、話し合いをする必要がある。

